

令和3年度11月定例教育委員会議事録

【日時】

令和3年11月18日（木）

開会 午後13時25分

閉会 午後16時30分

【会場】

町民会館104学習室

【出席者】

11名

（辰野町教育委員会）

教育長	宮澤 和徳
教育長代理	根橋 久人
教育委員	垣内 由佳
教育委員	関 政彦
教育委員	萩原 多恵子

（事務局関係）

総務課長	加藤 恒男
こども課長	小澤 靖一
生涯学習課長	西原 功
こども支援係長	井出 加代
学校教育係	向山 倅生

【傍聴者】

0名

【次第】

1 議事

- (1) 【非公開】 就学の判断について
- (2) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について

2 協議

- (1) 【非公開】 学校・保育園の様子及び運営上の諸課題
- (2) 【非公開】 川島小学校の今後のあり方についての協議
- (3) 【非公開】 全国学力状況調査の結果報告
- (4) 【非公開】 教職員の人事異動及び来年度教育課程の構想
- (5) 町教育委員会と社会教育委員との懇談内容

3 報告事項

- (1) 市町村教育委員会連絡協議会報告

○開会

1 開会の言葉

<宮澤教育長>

- ・ただいまから 11 月の定例教育委員会を開催させていただきます。

2 会期の決定

<宮澤教育長>

- ・本日 1 日限りとしたいがよろしいでしょうか。
- ・異議なし

3 宮澤教育長挨拶

11 月も半ばになりました。今週は比較的、小春日和の日が続いていて、天気の良い日の日中は大変暖かく穏やかですが、朝晩は寒さも増してきていて、寒暖差が大変大きくなっています。お互いに体には十分に気を付けていきたいと思います。

さて、一昨日、長野市の通明小学校において、児童が抱きかかえた石碑が倒れ、石碑の下敷きになった事故が大きく報道されました。昨日、ちょうど町内小中学校の校長先生が集まる会が役場で開催されましたので、口頭ではありましたが、各学校に再点検の指示を出しました。文書での依頼は改めて行いますが、石碑だけでなく、門柱、ブロンズ像や石像、庭園の中の石組みの石などについて、また、ブロックによる建造物、校舎内外の手すり、ロッカー等についても、単に目視ではなく、実際に手で押して固定の状態を確認するように依頼しました。昨日早速、県教委から点検の通知が来ました。通明小学校は月 1 回点検を行っていたと言われていたようですが、果たしてどこまで行っていたのか、私個人的には疑問が残ります。点検していたつもりになっていたのでは意味を成しません。

コロナ禍もだいぶ落ち着いています。小中学校では、予定した教育課程、行事等が順調に進んでいます。全ての小学校で全校マラソン大会が開催されました。中学校では、大城山強歩大会がワクチン接種と重なりましたが、「お散歩コース」を設けて対応し、無事開催することができました。

本日の教育委員会ですが、議事 2 点と協議になります。川島小学校に関わっては、今日総務課長が後ほど参りますので、町側の方向も確認しながら詰めていきたいと思っています。また、次回 12 月の教育委員会では、社会教育委員との懇談が予定されています。懇談内容についても協議していただければと思います。

それでは、よろしくお願ひ致します。

5 議事

(1) 【非公開】 就学の判断について

- ・井出こども支援係長より説明。
- ・全教育委員異議なし。8名認定。

(2) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について

- ・小澤こども課長より説明。
令和2年度の教育委員会事務事業の外部評価を事業別に説明。
全42事業項目のうち、14項目について「見直しの上で継続」とした。
- ・全教育委員、質問・意見なし。

6 協議

(1) 【非公開】学校・保育園の様子及び運営上の諸課題

- ・宮澤教育長より説明。

(2) 【非公開】川島小学校の今後のあり方についての協議

<宮澤教育長>

・町長の3年間のチャレンジ期間中、町外からも受け入れをしていた。今後は、町外から川島小を希望した場合は基本的に受け入れないという方向にしたい。いじめや命に係わる場合は特別に認めていく。少人数や川島の良さを理由にしたものは、今後受け入れないようにしたいがいかがか。

<A委員>

・川島小だけではなく、町全体としての方針が良いと思う。辰野町の学校を希望する場合は、基本的には辰野町に住むということが条件。川島小学校だけではないということを示すべき。

<B委員>

・今までは川島小を希望する方について、理由などを調査して入学の可否を選別していたのか。

<宮澤教育長>

・今まではなく、辰野町に住所を移しての転校であった。しかし今は、町外に住所を置いたまま通学している子もいる。

・保育園では、他市町村に子どもを預ける場合にはそれぞれ市町村同士で委託契約を結んでいる。学校は、これを想定していない。市町村の子どもは、その市町村で教育をするということ。その市町村の子どもが他市町村に行つて教育を受けるということは想定していない。

<C委員>

・特認校制度の対象は町内の子どもである。この制度とは切り離さなければならない。

<D委員>

・住所だけ移して、他市町村から通学するということもあり得るかもしれない。

<宮澤教育長>

・そういった家庭もある。

<小澤こども課長>

・川島小は何でも受け入れてくれるというような風潮が生まれてしまっていたかもしれない。

<E委員>

・チャレンジ期間が終わったので、3年前の状態に戻すということで良い。

<宮澤教育長>

・今後は、町外の児童が川島小を希望した場合は基本受け入れないということで対応していく。

・加藤総務課長より町の今後の方向について説明。

<F委員>

・断念から半年経つ。最近の新聞報道では、町長の思いがはっきりしなくなっている気がする。町長の考えに関心を持つ町民も多い。

<G委員>

・まちづくり政策課は、区に対してどんなビジョンを持っているのだろうか。

<加藤総務課長>

・町長に改めて確認した。統合は明確に打ち出している。方向性が変わることはない。必要な手続きを進めていくことが基本。地域活性化は、学校の有無に関わらず継続的に取り組んでいく。

<宮澤教育長>

・教育委員会は今後、未就学児童を持つ保護者との懇談も予定。懇談では、町長も参加いただく。

<加藤総務課長>

・「他校との統合を検討すべき」は、絶対に変わらない。その方向に向け、調整をかけるだけ。

<H委員>

・教育委員会も町長側も足並みが揃っているということが共通の認識。説明会でも町長は明確に表明している。

<I委員>

・3年間、小学校を移住定住施策に使ったこともあった。移住定住施策や活性化をどのようにやっていくかも出していけないのではないかと。

<加藤総務課長>

・地域活性化は成果も上がっている。モデル地区として継続してやっていく。移住定

住・活性化は、地元の声を聴きながら考えていく。

< J 委員 >

・まちづくり政策課として、地元へのメッセージがあれば。

< K 委員 >

・まちづくり政策課は、地元総代を含め、地域計画を進めることになっている。

< L 委員 >

・そこが進んでいくと、教育委員会としての動きも潤滑的になるのでは。

< M 委員 >

・地域づくりは、まちづくり政策課が進めていくが、モデル地区の任期は3月末まで。継続は可能か。

< 加藤総務課長 >

・県が制度を廃止しない限り、モデル地区がなくなることはない。環境的に変わってはいない。学校が統合されても継続可能という担保をいただいている。

< N 委員 >

・地元住民の中に、学校が統廃合されることで、地域活性が損なわれると考えている方はいるのか。

< O 委員 >

・当然いると思う。3年間のチャレンジ期間でも、なかなか川島に来ていただけなかった。

< 宮澤教育長 >

・町にお願いするとともに、自分たちの地域を自分たちでどうするのかということも描けるとよい。町は道案内や交通整理をしていくようになれば。

< 加藤総務課長 >

・地域性があり歴史もある。方向は説明会で述べている。一緒に考え、共に創っていくということである。

< 小澤こども課長 >

・会場によっては、元々川島に住んでいる方と、外から来た方との考え方や温度差があった。地区を考えると、両者が同じ方向を向いて考えることが大切。

< P 委員 >

・地元の方より移住してきた方たちが、自分たちで何とかしたいという思いが強いのではないか。

< 小澤こども課長 >

・活性化を考える際、外部の力を投入しようとする、また同じことが起こるのではないか。

< Q 委員 >

・外から来た方の力を借りる区も当然あるし、あってもよい。

<R委員>

・教育委員会では、検討委員会提言が一つの拠り所。提言は「あくまでも10名」。今は川島小だが、今後、南小や東小にも波及していく可能性がある。地域活性の先進地としての川島区になれる。川島モデルが今後の他の地域の活性化に良い影響を与えることにもなる。

<S委員>

・他地区の学校に通っている子どもと、川島小に行っている子どもと一緒に交流ができればよいと思う。

<T委員>

・平出区は、東小に通っていてもいなくても皆、平出区に住んでいる子として一緒にやろうとし、通知を出している。

<加藤総務課長>

・これは大人の事情であると思う。

<U委員>

・子どもたちが、大人の事情でよい学びを受けられないことがあるとしたら、早く解消してあげたい。

<宮澤教育長>

・総務課長を通して、教育委員会と町長との思いが同じであることを確認できてよかった。

(3) 【非公開】全国学力学習状況調査の結果報告

- ・宮澤教育長より説明。
学校種ごとの回答データの資料を提示。

(4) 【非公開】教職員の人事異動及び来年度教育課程の構想

- ・宮澤教育長より説明。

(5) 町教育委員会と社会教育委員との懇談内容

- ・宮澤教育長より説明。
日程と懇談内容の確認がなされた。

7 報告事項

(1) 市町村教育委員会連絡協議会報告

- ・宮澤教育長より非違行為の根絶に向けて、学校管理及び安全指導について協議したことを報告。

8 閉会